

議 事 録

- 1 会議の名称 平成 27 年度第 2 回水戸市都市交通戦略会議
- 2 開催日時 平成 27 年 11 月 25 日（水） 午後 3 時 00 分から午後 4 時 30 分まで
- 3 開催場所 水戸芸術館 会議場
- 4 出席した者の氏名
- (1) 委員
(名簿順) 茨城大学工学部都市システム工学科 金 利昭
茨城大学工学部都市システム工学科 熊澤 貴之
東日本旅客鉄道（株）水戸支社総務部企画室 増子 隆行
鹿島臨海鉄道（株） 宮本 満
茨城交通（株） 任田 正史
関東鉄道（株） 本多 佳夫（代理）
関鉄グリーンバス（株） 荒川 安男
ジェイアールバス関東（株）水戸支店 佐藤 亮（代理）
（一社）茨城県ハイヤー・タクシー協会 出野 清秀（代理）
水戸市住みよいまちづくり推進協議会 大関 茂
公募市民 米倉 彩乃
公募市民 根本 貴彬
公募市民 野原 香里
国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所 飯田 寛之（代理）
国土交通省関東運輸局茨城運輸支局 飯塚 正芳
茨城県企画部企画課 川上 敬一（代理）
茨城県土木部水戸土木事務所 小泉 恵三
茨城県土木部都市局都市計画課 田中 郷三（代理）
水戸市市長公室 三宅 正人
水戸市建設部 大森 幹司（代理）
水戸市都市計画部 荒井 宰（代理）
水戸商工会議所 深谷 邦夫（代理）
- ※代理出席 9 名, 欠席 3 名
- (2) 委託事業者 【一般財団法人計量計画研究所】
技術営業部長 鈴木 紀一, 主任研究員 秋元 伸裕,
研究員 稲原 宏, 研究員 蛭子 哲
- (3) 事務局 【水戸市市長公室交通政策課】
課長 須藤 文彦, 課長補佐兼係長 大嶋 実,
主幹 村石 俊弘, 主幹 小林 健典, 主事 大津 真奈美

5 会議次第

- (1) 開 会
- (2) 水戸市公共交通基本計画（素案）について
- (3) 平成 27 年度事業の実施状況について
 - ア 「水戸駅～大工町」 共通回数券活用 100 円バス事業
 - イ ミトセン地酒まつり 2015
- (4) その他
- (5) 閉 会

6 配布資料

- (1) 平成 27 年度第 2 回水戸市都市交通戦略会議資料
- (2) 水戸市公共交通基本計画（素案）

7 内容

	<p>※水戸市都市交通戦略会議規約第 7 条第 1 項に基づき，会長が進行を務めた。</p>
会長	<p>1 開 会</p> <p>【会長あいさつ】</p> <p>先週，秋田県で学会があり，バスに関する成功事例や活性化事例の発表が多くありました。数年後には，水戸市も，バスが便利に使いやすくなり，まちも活性化したという発表を是非していただきたいと思います。本日の会議はよろしくお願ひします。</p>
事務局	<p>はじめに，本日の出席者数について，事務局から報告をお願いします。</p> <p>本日は，委員定数 25 名中 22 名の出席又は代理出席をいただいています。</p>
会長	<p>事務局報告のとおり，出席者数が過半数となっているため，水戸市都市交通戦略会議規約第 7 条第 2 項の規定を満たし，本会議は成立しています。</p> <p>次に，本日の会議について，会議の内容から，冒頭から終了時まで公開としてよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>[異議なしの声]</p>
会長	<p>異議なしとのことなので，本日の会議は公開とします。</p> <p>また，本日の議事録署名人については，本人出席の委員を指名することとし，名簿の順に従い，____委員，____委員を指名させていただきます。</p>

	<p>2 水戸市公共交通基本計画（素案）について</p> <p>会長 それでは、議事に入ります。 8月末に今年度第1回目の水戸市都市交通戦略会議を開催して以降、2つの専門部会である交通体系部会と利用促進部会をそれぞれ2回ずつ開催し、水戸市公共交通基本計画について議論をしてきました。そこでの意見等を踏まえまして、水戸市公共交通基本計画の素案がまとまりましたので、事務局から説明をお願いします。</p> <p>事務局 [会議資料1ページに基づき、今後の策定スケジュールについて、資料「水戸市公共交通基本計画（素案）」に基づき、計画の素案について、事務局から説明]</p> <p>【意見・質問等】</p> <p>会長 ただいまの説明について、ご意見等がある場合はお願いします。</p> <p>委員 計画（素案）の54ページ「将来の公共交通ネットワーク」について、現在、市外から中心市街地まで直行運行している路線バスを、交通結節点で分断するという考えなのでしょうか。</p> <p>事務局 交通結節点を設け、市外からの直行便についても、乗り継ぎを前提としたネットワークに再編できないかということで、これまで検討を進めてきました。しかし、系統ごとに詳細な検討をした結果、ある系統については、直行便とするということもあり得ると思います。また、図に示している交通結節点の候補地すべてを交通結節点とするかについても、詳細な検討が必要です。</p> <p>委員 高齢者にとって、乗り継ぎは大変なストレスになると思います。今後、系統を整理する際、直通系統も尊重する必要があると思います。</p> <p>会長 乗り継ぎについて、当然の懸念事項だと思います。乗り継ぎがあっても使いやすいという方向に持っていく必要があると考えますが、乗り継ぎの抵抗をどのように減らすか等について、事務局で何かありますか。</p> <p>事務局 当然、乗り継ぎに関する懸念があると思いますので、どういう条件なら乗り継ぎを許容できるか等について、現在、バス利用者に対してアンケート調査を実施しているところです。今回の調査結果を踏まえながら、来年度、バス路線の再編を検討する中で、詳細に検討してまいります。</p>
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

委員	<p>19 ページについて、公共交通の利用が極めて低いという結果になっていますが、水戸市と類似した都市との比較は行っていますか。</p> <p>また、交通結節点に駐車場を設け、パークアンドライドという形で、公共交通でまちなかに来てもらう等、自動車に対する規制について考え方を教えてください。</p>
事務局	<p>19 ページの調査結果は、水戸市が独自に実施したバス交通実態調査に基づく結果なので、他都市との比較データはありませんが、18 ページに国勢調査をもとに作成した特例市との比較データを掲載しています。通勤・通学に関するデータとなっていますが、特例市と比較しても水戸市は自動車利用が高い状況ですので、ここをいかに低くしていくかということが課題になると思います。</p> <p>自動車に対する規制につきましては、いくら自動車は良くないと訴えても、他に代替手段がないということでは、自動車利用をやめることはできないので、使いやすい、分かりやすい公共交通にしていくという基本方針のもと、まずは、公共交通を利用できる環境をきちんと作って、その上で、自動車利用者を公共交通利用者に転換させていくという流れを考えています。あわせて、パークアンドライド等の施策も検討していきたいと考えています。</p>
会長	<p>特例市にはどのような市があるか教えてください。</p>
事務局	<p>八戸市やつくば市など、18 ページの図 2-17 に示している都市は、おおむね特例市となっています。人口規模でいうと 20 万人以上の都市です。</p>
会長	<p>以前、水戸市環境審議会で、水戸市と同規模程度の都市の自動車に起因する二酸化炭素排出量を比較したことがあります。その中でも水戸市はトップクラスでした。自動車に依存した都市となっていることは間違いない状況です。</p> <p>現在、水戸市では、自動車に対する規制等の施策について具体的な考え方は整理されていますか。</p>
事務局	<p>現在、水戸市では、自動車の優位性を積極的に下げていくような施策を具体的に検討してはいません。</p> <p>今回の公共交通基本計画の策定に当たっても、自動車利用を否定するのではなく、公共交通を使いやすく分かりやすくすることで、無理なく自動車利用者を公共交通利用者に転換させていくという考えのもと計画策定作業を進めているところです。66 ページに各拠点のサービス方針を示していますが、交通結節点では、パークアンドライド駐車場を設け、自動車からの乗り継ぎも想定しています。自動車も引き続き移動手段として活用していく考えでいます。</p>
会長	<p>自動車でカバーしなければならない地域や活動もあるので、自動車の活用を否定するものではありませんが、いずれ高齢になって運転できなくなったときにどうす</p>

	<p>るかなど、自動車利用者にも公共交通についてしっかりと考えてもらい、公共交通を今よりも優位なものに変えていくための自動車に対する施策も実施していく必要があると考えます。</p>
委員	<p>64 ページの表 4-1 について、水戸駅南口からの系統は県庁に直行したい方、水戸駅北口からの系統は市内で乗降する方や途中の高校に通学する方が使うなど、系統としての目的が違うため、比較対象としてはふさわしくないと考えます。以前交通体系部会でも同様の意見がありましたが、どのようにお考えなのでしょう。</p>
事務局	<p>「水戸駅～県庁バスターミナル」に代わる比較対象を検討していましたが、比較条件の良い系統が見付からず、現時点ではそのまま掲載しているところです。ご指摘は十分に理解していますので、具体的な系統で比較するのではなくイメージ図で示すなど、表 4-1 については再度検討します。</p>
会長	<p>この点について、計量計画研究所で補足することはありますか。</p>
計量計画研究所	<p>この比較表は、表の数字を受け、2 系統のうち 1 系統は不要であるということを示しているものではありません。ある程度路線の延長距離があり、表のような特徴が見られる系統なので、例えば、「水戸駅北口～大工町～県庁バスターミナル」については、全区間を運行していくべきなのか、沿線住民の利用状況を把握した上で運行形態を検討することもあり得るのではないかと、もしかしたら今より効率的な運行ができるのではないかとということで、これから路線再編を行うに当たり、検討方法のイメージを比較表で示しているものです。実際にこの系統を再編する必要があるかは、データ等を見ながら詳細に検討する必要があります。</p>
会長	<p>表現方法等、事務局で検討をお願いします。 他に何かありますか。</p>
委員	<p>重点施策をすべて水戸市や事業者の負担で実施するのは難しいと思いますので、国の補助メニューを活用することになると思いますが、どのような補助メニューの活用を想定しているのでしょうか。 また、茨城県とどのように連携していく考えなのでしょう。</p>
事務局	<p>この公共交通基本計画は、地域公共交通網形成計画として策定するもので、国とも協議をしながら策定作業を進めているところです。この計画に基づく事業については、ソフト事業が中心となりますが、国の補助が適用されることとなります。また、来年度、地域公共交通再編実施計画を策定する予定であり、この計画に基づく事業についても国の補助を活用できます。計画を策定することにより、国の補助を活用しながら事業を実施していきたいと考えています。今後、国の補助制度が変わ</p>

	<p>ることも考えられますので、国の動向を注視しながら、水戸市にふさわしい補助制度を常に見つけて適用しながら進めていきたいと考えています。</p> <p>茨城県との関係については、茨城県と水戸市が協力しながら取り組んでいくことが大事になってくると考えています。水戸市だけでなく、近隣市町村と連携しながら取り組む際に、広域的な観点から茨城県の支援を受けることが考えられます。それぞれ役割分担をし、お互いの強みを生かしながら、連携して事業に取り組んでいきたいと考えています。</p>
会長	<p>茨城県の考えもお聞かせください。</p>
委員	<p>現在、茨城県公共交通活性化指針の改定作業を行っているところなのですが、その中で、「重複路線の見直し」、「公共交通空白地区の解消」、「広域公共交通体系の構築」が大きな柱となっています。重複路線の見直しについては、路線バスが中心となりますが、路線を短くし、その分運行頻度を高めて、その一方で公共交通空白地区となったところについては、別の手段を当てはめていこうと考えています。広域公共交通体系の構築については、それぞれの市町村内で運行しているコミュニティバス等を近隣市町村に乗り入れることについて検討していきたいと考えています。</p>
会長	<p>水戸市公共交通基本計画には「重複路線の見直し」、「公共交通空白地区の解消」、「広域公共交通体系の構築」に関する記載がありますが、これらについて何かありますか。</p>
委員	<p>水戸市には石岡方面や常陸大宮方面などの広範囲から路線バスが乗り入れています。例えば、常陸大宮方面から来るバスについて見ると、常陸大宮からの乗客はおらず、水戸市内に入ってから乗車するという話を聞いています。このような状況において、どのような補助の方法が適切か考える必要があります。茨城県知事も公共交通を重要視しており、公共交通空白地区の解消に向けて新たなツールを導入するに当たっての補助や広域公共交通に関する取組を実施するに当たっての赤字補助など、茨城県として何ができるか検討しているところです。</p>
会長	<p>現在、茨城県と水戸市で、当会議以外で検討する機会はあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>当会議の全体会議の他に専門部会にも参加していただいていますし、日頃から情報交換ということで連携を密にしています。</p>
会長	<p>茨城県から話のあった補助の方法など、茨城県と水戸市の連携を密にして検討を進めてください。</p> <p>先ほど国の補助の話がありましたので、茨城運輸支局から何かアドバイス等はあ</p>

委員	<p>りますか。</p> <p>国の補助を活用する大前提として、地域公共交通網形成計画を策定する必要があります。それをもとに、地域公共交通再編事業等の地域公共交通特定事業を実施するに当たり、国の補助メニューを活用できます。その他にも地域公共交通網形成計画に基づき事業を実施するに当たっての補助メニューもあります。</p>
会長	<p>他に質問等がありますか。</p>
委員	<p>1月に意見公募手続を実施する予定となっていますが、この計画書は分厚いので、市民に意見を求めることを考えると、もう少し薄くした方がいいのではないかと思います。また、61ページの実施時期について、検討、計画等策定、試験的实施、本格実施とありますが、このスケジュールと62ページ以降の重点施策の内容がうまくつながっていないように感じるので、もう少し分かりやすく表現した方がいいのではないかと思います。例えば、平成28年度から本格実施する施策については、事業概要をより具体的に記載した方が分かりやすいと思います。</p>
事務局	<p>意見公募手続の対象は、この計画書すべてになりますので、分厚くなってしまいますのですが、その分、見やすく、分かりやすいものにしていきたいと考えています。重点施策の内容については、来年度から本格実施する施策は具体的に詳しく記載するなど、それぞれの施策概要が分かりやすくなるよう表現を検討します。</p>
委員	<p>54ページの「将来の公共交通ネットワーク」について、交通結節点の候補地が示されていますが、具体的な地名が示されるのは今回が初めてだと思います。候補地として選定した理由を教えてください。</p>
事務局	<p>候補地は、総合病院や大型商業施設、大学等の日常生活で多くの人々が集まる場所、既存バスターミナルやバス事業者の営業所等の中から本市交通の要所となるポイントを最大限ピックアップしたものとなっています。水戸北SIC、茨大、県庁のように具体的な場所を示しているもの以外は、小学校区を1つの地区と捉えて、その地区のどこかに交通結節点を設けるということで示しています。例えば、浜田という候補地がありますが、これは茨城交通の浜田営業所等の特定の場所を示しているのではなく、浜田地区のどこかということで示しています。双葉台という候補地は、済生会病院を視野に入れていますが、まだ病院側とは協議をしていませんので、双葉台という地区名で示しています。茨大や県庁のような具体的な施設名のほかに、地区名を示すことにより、こういったところを交通結節点の候補地として考えているのか分かりやすく示しています。</p>
委員	<p>今のような説明を計画の中に記載することについて検討してほしいと思います。</p>

事務局	<p>また、バス路線を再編する際に、幹線をどのような割合でバス事業者に配分するのかなど、再編のやり方について考えはありますか。</p> <p>図で示している「将来の公共交通ネットワーク」を基本的な考え方としながら、具体的にどのようにバス路線を再編するかについては、来年度、地域公共交通再編実施計画を策定する中で、交通事業者と協議しながら整理する考えです。</p>
委員	<p>この計画では、公共交通利用率に関する数値目標は設定しないのでしょうか。</p>
事務局	<p>85 ページ以降に計画の進捗管理ということで、アウトカム指標を設定しています。その中で、利用率ではないのですが、毎年度バス事業者から情報提供していただいている路線バス利用者数に関する数値目標を設定しています。</p>
会長	<p>公共交通の利用に関する数値目標は設定されているということですね。 他に質問等がありますか。</p> <p>ないようなので、本日いただいた意見等については、私と事務局で調整し、計画への反映に努め、市役所庁内の政策会議への提出、その後の意見公募の手続きを進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。</p> <p>意見公募手続については、実施していることの周知と関係者が積極的に意見できる工夫をしてほしいと思ひます。</p>
会長	<p>3 平成 27 年度事業の実施状況について</p> <p>次に、水戸市都市交通戦略会議における平成 27 年度事業の実施状況についてということで、(1)「水戸駅～大工町」共通回数券活用 100 円バス事業、(2) ミトセン地酒まつり 2015 について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>[会議資料 2, 3 ページに基づき、事務局から説明]</p>
会長	<p>ただいまの説明について、質問・意見等がありますか。</p> <p>ないようなので、本日の会議は以上といたします。進行を事務局にお返しします。</p> <p>4 閉 会</p> <p>[閉会のあいさつ]</p>